

中村健教授退任記念論文集の刊行にあたって

経済学部長・経済学会会長 高屋 和子

中村健教授は2023年3月をもって定年により立命館大学教授の職を退かれます。中村健先生は、同志社大学法学部をご卒業後、1981年4月より中学校教育現場に立たれながら、佛教大学通信教育部教育学部に生まれ、1982年に修了されました。また、1994年には兵庫教育大学大学院学校教育研究科に進学され、1996年3月に修了後、東大阪市教育委員会教育研究所主幹兼いじめ相談担当主幹、東大阪市立中学校教頭、常磐会学園大学国際コミュニケーション学部助教授、プール学院大学国際文化学部教授を歴任され、2013年4月に立命館大学経済学部に教授として着任されました。学会活動では、日本学校教育相談学会、日本学校心理学会、日本教育心理学会、日本心理臨床学会、日本生徒指導学会などに所属され、日本学校教育相談学会では委員や理事、事務局次長、副会長、公認心理士関連委員会副委員長などを務められてきました。1996年には学校カウンセラーの、2001年には学校心理士の資格も取得され、本学ご着任後も中・高等学校でスクールカウンセラーや教育相談コーディネーターを務められるなど、まさに現場での実践と研究の両面で多大なご貢献をされてこられました。

ご研究面では、私ではご紹介の任を十分に果たすことはできませんが、学力問題、いじめ、不登校、学級崩壊、非行・問題行動、高校中途退学、虐待、特別支援教育等今日的課題に対し、解決的心理援助サービスと予防・開発的心理教育的援助サービスにカウンセリングや心理学を応用した実践と研究を積み重ねてこられました。また、こうした実践とご研究を就学前から大学卒業後まで継続した、すべての子どもに対して開かれた子育て支援ネットワークづくりを地域コミュニティと共に進める実践研究へと発展させることを目指してこられました。中・高等学校等の教育現場でのご経験や実践、ご研究をもとに、本学における教職課程での教育、ご指導にご尽力くださいました。

以上のようなご功績に加え、学内役職として、2014年に経済学部学生主事・ハラスメント相談員、2014～2016年に特別ニーズ学生支援アドバイザー、障害学生支援アドバイザーは2016年～2023年の長きにわたって務められ、2017年～2018年には教職教育総合センター長も務められました。本学の教育、研究、学生支援に対するこれら多くのご尽力、ご貢献に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。立命館大学経済学会では、先生のご功績をたたえとともに、そのお人柄を敬愛し、『立命館経済学』において退任記念論文集を編纂、発行することにいたしました。

中村先生は、2023年4月以降も特任教授として本学の教育・研究を引き続き支えて頂けるとうかがっております。先生はまだまだご壮健で、研究・教育への情熱も益々盛んであるとお見受けいたします。今後とも後進へのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に先生のご健勝とご活躍を祈念し、本記念号刊行にあたってのご挨拶とさせていただきます。